

広
報

びらとり

2012年

9

No.618

舟上より望む沙流川 (チブサンケ 8/19)

今月号は…

- 地域おこし協力隊のチャレンジ
- 有害獣侵入防止柵の整備概要
- 平成24年度 長寿者番付表
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

☆地域おこし協力隊のチャレンジ☆

～平取町のために何ができるかを問いかけ、 そしてこのまちで暮らしてゆく糧をみつきたい～

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域以外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、「都会を離れて地方で生活したい」「地域のために役に立ちたい」「自然と共生し、人とのつながりを大切にして生きていきたい」などの意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域の力の維持、強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

町では平成23年度から3名の隊員を受け入れ、農作業や高齢者などの生活支援、観光イベントなどの手伝いなど、各種地域協力活動に携わりながら、将来、平取町での起業や就業することをめざしています。

すでに協力隊員として1年2カ月が経過し、多くの支援活動やイベントの手伝いに携わり地域と接点をもったことや、隊員自身が発行する協力隊新聞などを発行し活動を知ってもらおう取り組みも行ってきていることから、その知名度は徐々に高まりつつあります。改めて3名の隊員を紹介するとともに平取町の地域おこし協力隊事業についてお知らせいたします。



☆地域おこし協力隊

隈崎 直樹（くまざき なおき）（35歳）札幌市出身
妻・子（2歳）（まもなく第二子誕生）と平取町へ

①協力隊になった理由

家族全員で大自然の残る北海道、平取町を少しでも多くの人達に伝えたい気持ちが強く、私自身、家族も大自然のなかで自然と共に暮らして行きたいと強く願っていた。

②抱負・取り組みたいこと

地域おこし協力隊の活動は自分にとって、地域の方々の幸せづくりのお手伝い、家族の幸せづくり、田舎のこしのための仕事としてとらえています。さらに平取町の皆さんから生きる知恵、平取町の良さを学んでいきたいと思えます。将来的には農業を基盤に6次産業化などの可能性を探り、農家レストランや農家キャンプ場などを経営したいと考えています。

③現在の取り組み

23年度から活動の拠点を豊糠に移し、実践的な農作業を中心とした生活を基本とし、豊糠地区の地域活動、全町的な生活支援活動などに従事しています。協力隊の任期が終了した時点で、農業を基盤として平取町に定住できるような環境づくりをめざし取り組んでいます。

☆地域おこし協力隊

上妻 永吉（あがつま えいきち）（35歳）札幌市出身
妻・子（2歳）と平取町へ

①協力隊になった理由

都会よりも田舎暮らしを自分も家族ものぞんでいた。協力隊活動をきっかけに、地域のなかでやりがいをもって暮らしたかった。

②抱負・取り組みたいこと

平取町にはたくさんの森林があり、歴史的にも林業を中心とした産業構造がありました。この林業の可能性を探りながら、生業づくりとして林業を基本に実践できればと考えています。林地残材を活用して、都会のユーザーに薪として提供し都市と田舎のネットワークを作るなど森林には多くの可能性が存在していると思っていて、仕組みをつくることで進む事業などがたくさんあると考えています。

③現在の取り組み

振内町に家族と居住し、地域のイベントなどの支援、高齢者などの生活支援活動をしながら、林業を生業として移住の可能性を探っています。民間企業での実践的な研修や各種研修会などに積極的に参加しています。





☆地域おこし協力隊

富安 寛樹 (とみやす ひろき) (24歳) 神奈川県出身 大学を休学し平取町へ ※現在大学復学のため6カ月間 (25年3月まで) 活動を休止しています。

①協力隊になった理由

農村において自分で仕事を創って生きていきたいと考えていた。あらゆる機能の都市への一極集中に疑問を感じるようになり、まず、自分自身が農村で持続可能な生活を目指したいと思った。

②抱負・取り組みたいこと

地域の支援活動を通じ町民の方との信頼関係をつくり、地域の中の個人が抱える細かい問題、課題をみつけ、それを解決していくことなどを地道な活動として、協力隊が平取町に欠かせない存在となること。

③現在の取り組み

主たるテーマを平取町に賦存する自然エネルギーとして、木質バイオマス、中小水力エネルギーなどの普及の可能性、生業としてどう発展させられるかななどを模索しています。もちろん地域支援活動をはじめ、義経なるこ会、バレーボール、アイスホッケーなどの団体にも積極的に加入し地域との関わり、ふれあいを大切にしたいと考えています。

町では、地域おこし協力隊事業を始めるまでに各地の地域おこし協力隊について調査したり、実際に地域おこし協力隊事業を実施している団体や、各地の地域おこし協力隊員と交流してきました。その中で実態としてわかったことが、地域おこし協力隊は役場や、地域の活動のお手伝いがほとんどだということ。そして、もう1つは、多くの地域おこし協力隊員はお手伝いではなく、自分たちが主体となる活動を希望しているということです。

言い換えれば地域おこし協力隊員を、体裁のよい地域の期間労働者として利用しているところが少なくなく、隊員は役場からの指示待ちで、自ら考え、自ら行動するという機会が与えられていません。また、その地域への移住を希望している隊員が多いにもかかわらず、地域として隊員の移住を具体的に支援する体制ができていません。そのため、期間中は役場の臨時職員のような扱いを受け、多くの隊員は期間終了後の自らの身の振り方について不安を感じている方が多いということがわかったのです。



そこで平取町では、地域おこし協力隊として来ていただく隊員を、地域の御用聞きや、町の仕事のお手伝いだけをしってもらうとは捉えずに、隊員のみなさんは、役場の指示で動くのではなく、皆さんの活動を支援する地域おこし協力隊コーディネーター (NPO法人ほかげ (振内町) 代表 鈴木透氏) と一緒に、自らが移住・定住するための仕事などの生活基盤づくりを、自ら考えて活動していただきたいと考えています。

そして、そのノウハウを、今後につく方々にも対応できる仕組みとして作りあげていきたいと思っています。



地域おこし協力隊事業も2年目となり、この事業の本旨ともいえる隊員それぞれが移住を前提とした自らの生業づくりのための取り組みを柱とする活動内容に移行しつつあります。

全国でも23年度末までに3府県、138市町村が407人の協力隊員を受け入れていきます。3年が任期の本制度終了後も約7割の隊員が定住するといった結果もでてくることから、平取町としても移住・定住施策の主要事業として位置づけ、委嘱期間中はもちろん、任期終了後のサポート体制についても検討してゆく必要があると考えています。



有害獣侵入防止柵の整備概要



8月31日の議会臨時会において、全町33.9kmの有害獣侵入防止柵の整備、事業費で8億8370万1千円の工事契約の締結が可決されました。

Q. 事業の目的について教えてください。

A. 町内の農業被害は、平成22年度実績で水稻や牧草を中心に約2億1千万円にものびります。

また、その被害の約9割はエゾシカによってもたらされていることから、効果的なエゾシカ侵入防止対策を実施することで被害の減少を図るものです。

Q. 事業の概要について教えてください。

A. ①事業内容

町内全域の農地（一部山林を含む）に、金網柵（一部樹脂ネットフェンス）の設置工事を行います。

②事業量

道補助金の割当ての関係上、2カ年に分割して実施します。平成24年度は河川敷地を除く農地等、平成25年度は河川敷地へ設置します。

平成24年度 33.9 km
平成25年度 38 km（予定）

③事業費及び財源

事業費

平成24年度 8億8370万1千円
平成25年度（未定）

財源

道補助金55%
町負担金41%
JA平取町負担金4%
受益者負担金1%
（町負担金の80%は、特別交付税として国から町へ交付される予定です。）

④工期

町内を7工区に分けて、9月中旬から2月末までの間で実施します。

Q. 町ではこれまで農業被害を減らすためにどのような対策をしていますか？

A. 有害獣防止電気柵整備に對する補助（1ヶ所につき3分の1補助、上限10万円）、エゾシカやヒグマの捕獲委託（委託先…北海道猟友会沙流川支部）と捕獲奨励金の支出、アライグマ等の箱ワナの捕獲機材の購入と貸出等が挙げられます。

平成24年度からは、日高町、新冠町、平取町で組織する日高西部鳥獣被害防止対策協議会によるエゾシカ

の一斉駆除も実施します。工事期間中、町民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

❖ これまでの経過報告 ❖

- 平成20年
 - 鳥獣害防止特措法に係る平取町鳥獣被害防止計画の策定（平成22年度まで）
- 平成23年
 - 鳥獣害防止特措法に係る平取町鳥獣被害防止計画の策定（平成25年度まで）
- 平成24年
 - 9月・平取町鳥獣被害防止対策協議会の設立
 - 1月・各地区事業説明会（4月まで）
 - 侵入防止柵設置箇所の取りまとめ（1回目）
 - 3月・第1回施設整備組合代表者連絡会議
 - 5月・侵入防止柵設置箇所の取りまとめ（2回目）
 - 日高西部鳥獣被害防止対策協議会の設立
 - 日高西部鳥獣被害防止計画の策定（平成26年度まで）
- 平成25年
 - 7月・町に有害獣侵入防止柵整備対策室を設置
 - 鳥獣被害防止総合対策事業補助金割当内示
 - 各地区へ侵入防止柵設置箇所の最終確認
 - 第2回施設整備組合代表者連絡会議
 - 8月・入札
 - 議会臨時会で有害獣侵入防止柵整備工事の契約締結を可決
 - 9月・工事着手
 - 平成25年2月・工事完了予定



有害獣侵入防止柵（むかわ町）

いつまでもお元気で長生きしてください

東

西

寿

平成二十四年度

長寿者番付表

関脇	関脇	大関	大関	横綱
加賀屋ミサラ	池田正明	坂本ヒナ子	賀集キミエ	崎廣ミサラ
97歳	97歳	98歳	98歳	99歳
芽生	川向	本町	紫雲古津	岩知志

関脇	大関	大関	大関	横綱
中島キクノ	藤澤ツク	湯村ナツ	橋本スイ	油谷みき
97歳	98歳	98歳	98歳	99歳
本町	荷負	貫気別	荷菜	本町

前頭一					小結	
水正壽々美	原田ヤイ	高橋イト	久保田ヒサ	伊藤福治郎	及川タツミ	石谷清
95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳
振内町	荷菜	豊糠	振内町	幌毛志	振内町	豊糠

前頭一					小結		
沖野コト	山際イク	高川キヌ	山崎今朝代	宮北富貴	田畑節	木村末四郎	平村上男
95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳	96歳
旭	本町	貫気別	貫気別	本町	本町	芽生	本町

前頭三				前頭二			
宇南山ツヤ	市橋實	岡田シズ	野口忠義	松永ミツエ	葛野ヨシ	佐々木長興	平村きみ子
93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳	94歳
荷菜	荷菜	貫気別	紫雲古津	旭	本町	小平	本町

前頭三					前頭二			
三好一	池本操	貝澤ハル子	坂東重男	水口きくゑ	中田こはる	山田ハル	菅原喜美子	窪田はる
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳	94歳
振内町	本町	荷負	川向	旭	本町	本町	荷菜	本町

※ 9月1日現在に平取町に住む85歳以上の方の人数
男性 77人 女性 187人 計 264人

平成 24年 9月 1日現在 (敬称略)



本町 山際イクさん (95歳)

9月17日は「敬老の日」
毎年9月第3月曜日は、敬老の日として、多年にわたり社会につくしてきたご老人を敬愛し、長寿を祝う日です。
9月8日に開催された本町・小平自治会主催の「長寿を祝う会」で出席者最長寿の山際イクさんにインタビューしました。
※長寿の秘訣は？
「好き嫌いがなく、健康でいること。そして、自分自身が感謝の気持ちを持って、毎日幸せを感じる事です。」
周りにも幸せを与えてくれるような笑顔で、答えていただきました。

まちの広場

(すずらのまち びらとり)

『びらとりトマト』で地域団体商標登録 平取町農業協同組合 (8/10)

平取農協では、びらとりトマトのブランド力・認知度を高めようと『びらとりトマト』の地域団体商標登録へ向けて手続きを進めていましたが、この度、正式に商標登録されました。

この商標は全国で511件目、北海道では19件目の登録となります。

これまでニシパの恋人、びらとりトマトとバラバラで全国展開していたため認知度は低かったのですが、地道な販売活動とトマト大使の活動、販売額41億円突破にも後押しされ、全国的にも知名度があがり登録に結びつきました。

平取農協では、更に『びらとりトマト』のブランドの認知度を強化していきたいと話しています。



意見交換する稲葉さん(左)、岡田さん(右)

びらとりの活性化を提言 地域づくりインターン報告会 (8/20)

都会の大学生が、まちづくりへの意見を出してもらう「若者の地方交流体験(地域づくりインターン)事業」に、東京都出身の稲葉大樹さんと大阪府出身の岡田陽祐さんが参加し、約2週間平取の魅力と課題発見に取り組みました。

報告会では、「セールスポイントがたくさんある」「ヤル気もアイデアもある」等の魅力な点と、「若者が少ない」「PR不足」等の課題をあげ、今後の対応策として、Twitter(ツイッター)を利用する情報発信を提案しました。

1年間の努力が実を結ぶ 介護員養成研修講座閉・開校式 (8/29)

訪問介護員2級を目指す平取高校の講座では、今年3年生5名が無事に課程を修了しました。

主催である社会福祉協議会 小西正男会長より修了証が渡され、「地元の募集や、介護福祉士への道もあるので、挑戦してほしい」と、激励を受けました。

終了後、生徒全員で「ありがとうございました」とお礼の挨拶がされ、喜びに溢れた気持ちの良い式になりました。

同日、2年生2人の講座が開講され、1年間介護の基礎知識を習得していきます。



栄冠を勝ち取ったのは 平取町長杯平取義経特別競争 (9/4)

道営競馬「平取町長杯平取義経特別競走」が、門別競馬場で開催されました。

大勢の観客が見守る中、14頭のサラブレッドが1,800mを力走し、わずかの差により「サイアーエフェクト」が1着、「アドマイヤトリック」が2着となりました。

高配当となった本レース、みごとの中できた方は少なかったようです。



地域で紡ぐ、平和への誓い 戦没者追悼式 (9/5)

先の大戦で、尊い命を失われた206名に、ご遺族や来賓ら70名余りが参列して「平取町戦没者追悼式」が、平和塔前で執り行われました。

川上町長より式辞が述べられ、参列者は、戦没者の御霊に対し、白い菊の花と共に哀悼の誠を捧げ、恒久平和を祈念しました。

また、前日には本町5町内会が主催となって盆踊り、花火大会を行い、今年も平和塔には多くの方々が、追悼へ訪れました。

心臓が悲鳴をあげる前に 「救急の日」医学講演会 (9/7)

日高医師会主催による「救急の日」医学講演会が、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

講師に札幌心臓血管クリニック理事長の藤田 勉氏を招き、心筋梗塞や動脈硬化などについて、実際の治療法を例にあげながら話し、来場者は真剣に聞いていました。

救急救命法実技講習を日高西部消防組合消防署職員が寸劇により分かりやすく、楽しく演じ、緊急時の対応を学ぶことができました。



青少年の読書指導に充てていただきたいとご寄付いただきました。



図書購入事業へ
日高報知新聞社さま

文化的活動に充てていただきたいとご寄付いただきました。



文化推進事業へ
本町 佐々木 京子さま

◆ご寄付ありがとうございます